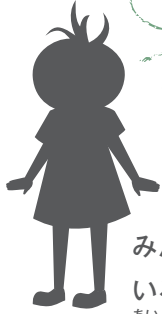


ジャン・ミノコの

The agricultural lecture
by Jan Minoco



にしみの 農業ドリル



みんな、元気？昨年げんき さくねんの9月号がつごうでは、管内かんないのいろいろなところでナスつくが作られているって紹介しょうかいしたけど、今いまつく作られて
いるナスは「夏秋ナス」かきゅうって呼ばれるんだって。今回は、「夏秋ナス」かきゅうについて教えてもらいに安八町あんぱちちょうの牧園芸組まきえんげいくみ
あいなす部会ぶかいを訪ねたよ！

「夏秋ナス」ってどんなナス？

- 「夏秋ナス」は、神戸町、安八町、海津市、垂井町、関ヶ原町で作られているよ。
- 7月から11月上旬まで出荷されるよ。



夏秋ナスについて
おしえてくれるのは

どんな品種を作っているの？

金森部会長かなもりぶかいちやうたちが作っているのは、「千両二号」と呼ばれる長卵形のナス。「千両二号」は、管内で最も多く作られている品種なんだ。皮や実がやわらかくて、漬物用のナスとして人気だよ。ちなみに管内では、「筑陽」と呼ばれる長ナスも作られているよ。



どうやって育てられているの？

「夏秋ナス」は露地栽培で育てられているよ。ほ場の周りには「防風ネット」が張られているんだ。ナスは葉に当ただけでもすぐに傷ついてしまうんだけど、「防風ネット」は、繊細で傷つきやすいナスを守る役割をしているんだよ。



牧園芸組合あいなす部会 金森隆部会長

私たちの部会では、4人の部会員が、約40アールで作っていて、大垣市場に出荷しています。

どうして「夏秋ナス」って呼ばれるの？

管内では、一年を通じてナスが作られているけど、収穫される時期によって「夏秋ナス」と「冬春ナス」って呼び方が変わるんだ。7月から11月に露地栽培で作られているのは「夏秋ナス」、10月から6月にビニールハウスで作られているのは「冬春ナス」って呼ばれているんだ。

みんなも、おいしいナスをいっぱい食べてね！

